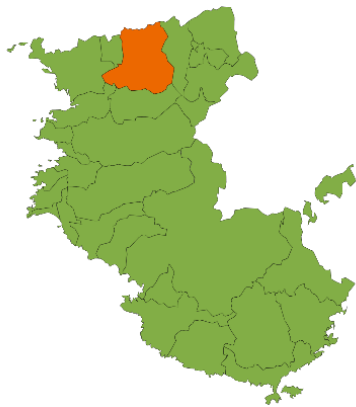


和歌山県紀の川市

紀の川スイーツの開発



【活動の基本情報】

参加学生数：15名

(1年生：6名、2年生：5名、3年生：4名)

活動期間：2018年5月～2023年1月

担当教員：竹田明弘

1. 活動実施の経緯

紀の川市 LPP では、これまでフルーツを用いたスイーツを提携企業、店舗と開発、販売した。本年度はこれまでの活動を更に発展させ、紀の川市の知名度を上げる活動を目的に、スイーツだけでなく紀の川市の有名店舗と共同した商品開発企画を実施した。

2. 活動の内容

本活動は、参加希望した学部生、紀の川市役所、協力店舗の3者の協力のもと実施した。本年は、株式会社 九重雑賀、農業生産法人 有限会社柑香園（観音山フルーツガーデン）、藤桃庵、株式会社 近鉄百貨店と合同で、それぞれの商品を持ち寄り、紀の川セットとして1組の商品を完成させ、お中元として販売することを目的とした活動を実施した。株式会社 九重雑賀とは「いんでぐら」という名称の日本酒を、有限会社柑香園とは「のうかちつぶす」「なちゆるん（はちみつ増量）」を、藤桃庵とは「まぜるジャム」を共同で商品開発した。また、それぞれの商品のラベルデザイン、お中元箱のデザイン、共通ロゴも作成した。本セットは、令和5年度 夏のお中元で近鉄百貨店から発売を予定しており、2023年2月末に完成、広報活動については4月以降に実施予定である。また、昨年から継続していたカフェムリーノとのチーズケーキ開発も、2022年4月末に商品が完成し、発売した。

3. 活動を通じて

昨年度と比較して活動できる範囲は増大したが、本年も COVID-19 感染拡大防止のため、対面活動に一定の制限があり、円滑な活動の実施は困難であった。また、今年度は紀の川市、株式会社 近鉄百貨店との共同というだけでなく、複数の企業、店舗で一つのセット商品を開発するという活動であったことから、学生も含んだ調整作業に苦労した。ただ、紀の川市との商品開発活動が5年経過し、その活動の範囲や規模も大きくなってきている。これは、非常に喜ばしいことである。これも紀の川市、ならびに地元の企業や店舗のご尽力、ご協力の賜物である。そして、これまでの学生の努力の成果でもある。本活動にはまだまだ課題が多いが、少しでも紀の川市のブランド化に貢献できるような活動を実施していきたい。

4. 成果ポスター

紀の川LPP -2022年度活動報告-

紀の川市は和歌山県北部に位置し、北は大阪府、西は和歌山市に隣接しています。また、温暖な気候と紀の川がもたらす肥沃な土壌を最大限に利用して、野菜、果物など多種多様な農作物を生産しています。はっさく、いちじく、柿、キウイフルーツ、いちごなど四季折々の果物が収穫できる全国有数の果物産地です。今年度は昭和9年9月に設立された大阪市に本社を置く、百貨店・スーパー・コンビニ業界に所属する企業である近鉄百貨店様とのお中元開発に取り組んでいます。近鉄百貨店様とのお中元企画第2弾として「藤桃庵様」「観音山フルーツガーデン様」「九重雑賀様」の3社と共同開発でお中元セットの中に入れる商品を開発しています。

1 回生～藤桃庵とコラボ～



* 1月24日現在のデザイン案である

1回生は藤桃庵様と共にジャム製作に取り組みました。ジャムは「混ぜるジャム」をテーマとし、いちごははっさく、みるくの3つのジャムを製作しました。果物そのものの味ではなく、それぞれいちごには梅酒、はっさくにはコアントロー、みるくにはバナナを香り付けとして使用し、より深みのある味に仕上げました。様々なお酒を使用したものを試食した上で上記の味に決定致しました。見た目味にこだわり、ジャム単体でも混ぜても楽しめるジャムに仕上がっています。

2 回生～観音山フルーツガーデンとコラボ～



2回生は観音山フルーツガーデン様と共同でのうかチップスとなちゅるんぜりいの開発を行いました。なちゅるんぜりいは既存の商品を基にし、主にパッケージデザインの変更を行いました。また、はちみつを増量しパッケージデザインのレモンはそのまま残し、はちみつを上から垂らしたデザインに変更しました。パッケージにはちみつを増量したことも記載し、ほのかな甘みが加わったことによるうまみも強調しています。のうかチップスは、メンバーの案を基に、黒柿をチップス状に乾燥させたものに仕上げました。また、ターゲットを日本人に設定した上でパッケージ作りの際に意識しました。

3 回生～九重雑賀とコラボ～



3回生は九重雑賀様と共同で日本酒の開発を行いました。九重雑賀様の人気商品である純米吟醸辛口を使用し、オリジナルのパッケージを作成しました。日本酒は九重雑賀様のご協力のもと、10種類以上を試飲した上で、今回の商品コンセプトに最適なものを選びました。パッケージは百貨店やECサイトなどからデザインを研究し制作しております。自信をもってお届けできるものになりましたので、お中元が販売された際にはぜひお手にとっていただければと存じます。

* 1月24日現段階ではどちらのデザインにするかは定まっていない

合同報告会 当日の様子

テーマ：紀の川スイーツの開発

基本的には、どのブースも発表する LPP のポスターの周りに立って報告を聞くという形式で行った。紀の川市 LPP のブースでは積極的に質問もあり、メモをとる学生も多く見受けられ、非常に意欲的な姿がみられた。また、発表時間を目一杯使う LPP もあり、この 1 年間、真剣に活動してきたことがわかった。発表内容もこれまでの活動を聞き取りやすく発表する班が多く見受けられ、全員が積極的に取り組んできた証拠であると感じた。

また、交流会では一回生から三回生までのグループ編成の中、全員の意見を聞くことができた。どのグループも共通して、「(LPP 内での) 縦の交流がほしい」「現地活動をもっとしたい」という意見が多かった。LPP に参加しているということもあり、意見をあまり発しないという人はいなかった。全員が感じたことや考えていることを素直に付箋にも伝えることができているように感じたので、非常に良い光景であると感じた。特に一回生は意見を発することが難しいと思っていたが、積極的に意見を発していた。今回挙げられた意見は、和歌山大学観光学部で LPP という活動をこれからも続けていくために参考にし、活かしていく必要がある。

